

令和3年9月17日

保護者の皆様

南知多町立豊浜小学校長

本田 和 隆

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果と対策について

仲秋の候、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和3年5月27日に全国の小学校第6学年を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の本校の結果と対策についてお伝えします。

1 学力についての結果

(1) 国語の結果と対策

①結果（○…良い ▼…改善が必要）

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- ▼ 資料を用いた目的を理解することが苦手である。
- ▼ 目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることが苦手である。
- ▼ 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることが苦手である。
- ▼ 文の中における主語と述語との関係を捉えることが苦手である。

②対策

- ・教師は、100マス作文や感想など文を書かせる場面で、文の構成や相手に何を伝えたいか、どのように書くかと相手に伝わりやすいかななどを助言し、しっかりと考えて書く時間を確保する。
- ・教師は、児童が校外学習などのまとめをしたり、発表したりする中で、よりわかりやすくするためにはどのような図表やグラフを用いるとよいかを考え、まとめる時間を確保する。

(2) 算数の結果と対策

①結果（○…良い ▼…改善が必要）

- 条件に合う時刻を求めることができる。
- 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。
- ▼ 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することが苦手である。
- ▼ 複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることが苦手である。
- ▼ データを二次元の表に分類整理することが苦手である。
- ▼ 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することが苦手である。
- ▼ 商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることが苦手である。

②対策

- ・特殊な形をした図形の面積や体積を求める問題で、模型を利用し、図形を視覚的に理解しやすくして、図形と式を関連付け、面積や体積の求め方について説明し合う活動の場面を設定する。
- ・授業開始や授業終了前などに、計算問題を繰り返し解くための時間を確保し、反復練習できるようにする。

2 児童生徒質問紙調査の結果（○…良い ▼…改善が必要）

(1) 肯定的な回答の割合が高い項目

- 普段の読書時間。
- 新聞を読んでいる。
- 地域の行事に参加している。
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ。
- 国語の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。

(2) 肯定的な回答の割合が低い項目

- ▼ 普段のテレビゲームやスマートフォンの利用時間。
- ▼ 自分には、よいところがある。
- ▼ 夢や目標をもっている。
- ▼ 自分でやると決めたことは、やり遂げる。
- ▼ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
- ▼ 人が困っているときは、進んで助けている。
- ▼ 自分の思っていることや感じていることを言葉で表すことができる。
- ▼ 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ▼ 計画を立てて勉強をしている。
- ▼ 5年生までのICT機器の利用頻度。
- ▼ 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ▼ 算数で学んだことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか。
- ▼ 新型コロナウイルスの感染拡大で休校していた期間中、計画的に学習を続けることができたか。

(3) 対策

- キャリア教育や道徳教育の中で豊かな体験活動を充実させ、その中で得た経験や考えを日常生活に生かされるようにする。
- 朝学習や授業を通して基礎基本の定着を図り、各担任が「できた」「わかった」を味わわせることができる授業を展開する。
- 委員会やクラスの係活動など教育活動全般を通して、一人一人にさまざまな役割を与え、他のために貢献する喜びが味わえるような活動の工夫をする。
- 保護者の理解と協力を得ながら、各学年のウィークポイントにあった効率的な課題を与えるとともに、家庭学習の習慣化を図る。